

令和8年度から始まる全員給食に向けて、 一部の中学校で食缶による汁物の提供を先行実施します

横浜市では令和8年度から、中学校給食において、より温かく美味しい、食缶による汁物の提供を開始します。これまで、中学校給食推進校で試行を実施しながら、配膳方法などの効果検証を行い、また、献立の作成にあたっては、横浜ガストロノミ協議会などとコラボし、生徒と共に献立をつくるなど、より良い給食の実現に向けて取組を進めています。

今年度に入り、調理製造事業者の新工場が完成するなど製造体制が増強できたことから、夏休み明けから、市内の中学校 21 校で、食缶による汁物の提供を先行実施します。

汁物食缶の先行実施について

【先行実施校】 市内の市立中学校21校
(中区5校、南区8校、旭区1校、港北区1校、緑区4校、
青葉区2校)

【実施期間】 夏休み明けから年度末まで

【実施目的】 先行実施を通じて、8年度からの全員給食を円滑にスタートできるよう、効率的な配膳方法や給食時間の検討などを行います。

※このほか、先行実施校を除く市内の横浜市立中学校全校では、夏休み明け以降、1週間程度の汁物食缶の試行実施を順次行います。

※取材のご希望がある場合は、下記お問合せ先までご連絡ください。



横浜開港菜のクラムチャウダー



生徒とともに作る汁物食缶メニュー

【コラム】株安田物産の新工場が都筑区に竣工

令和 8 年度からの全員給食に向けて建設中だった横浜市の中学校給食を提供する株式会社安田物産の新工場が都筑区に完成し、今月 8 日には、事業者主催の竣工式が開催されました。

竣工式の後には工場見学会も開催され、招待された児童・生徒および保護者約 100 名が参加しました。

当該工場は市内初の調理施設で、衛生管理や防災機能が、より一層強化されています。令和7年度は、夏休み明けからの先行実施校 21 校のうち、中区・南区・緑区の 17 校に当該工場から給食が提供されます。



工場に設置された大型の回転釜



貯蔵してある LP ガスは、災害時にも活用可能

お問合せ先

教育委員会事務局学校給食・食育推進課中学校給食推進担当課長 三石 晃司 Tel 045-671-4591



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

